

花鳥風月・短歌

「美味いぞね」孫娘作頬張りて

肉巻きにぎり笑み転がりて

石井 トシ子

豆種を蒔くも番いの鳩が来て

我を見おろしチャンス狙う

塗 塀 良子

筍を薄切りにして土佐煮とす

筍を押し頂いて調理する

耕運機操り仕込む夏野菜

百寿を迎う大叔父勇姿

巣をかける燕舞込むケアハウス

幸運の来ると人は言う

小林 泰子

新しい靴をはいてか足元を

見ながらニツコリ先頭に行く

加藤
イサ子

日々の如脳の働きおとろえて

軍歌浮かばず頭なやます

一色
ノブ

この坂を越えれば幸につづく道

妻と二人でゆっくりとこゆる

曾我部
福石

内視鏡心の中も覗き見る

診察室の憎い計らい

佐伯
定則

すくも焼き冷えた菜園にばら撒いて

春と思わせ土目覚めさす

守谷
肇

初物の筍料理お裾分け

遍路文化の名残り

や今に

徳永 誠一

目の手術、終えて良く見え有り難い

技術の進歩に感慨深い

WBCジャパン世界一

おめでとう皆に希望勇気付けられ

大橋 桃代